

1 . 広島大学マスターズ第 7 回総会へのご案内

賀茂台地は山つつじの美しい季節となりました。会員の皆様方、お変わりなくご清祥のこと、お慶び申し上げます。

昨年は、東日本太平洋岸には大震災、福島では原発事故が重なり、紀伊半島南部の大水害も加わって、大変な一年でした。街や村の崩壊、流出の映像を見るたびに、原爆被災直後の広島市の街地が重ね合わされるのは、私だけではないと思います。一日も早い復興をお祈りします。

広島大学マスターズは、創立して 6 年（正確には 5 年 5 か月）が経ちました。その間、東広島市、広島大学、それに東広島市民のご協力、ご支援に支えられたことを深く感謝します。お蔭で市民の生涯学習、学生や留学生の教養教育など、全国的に例のないユニークな活動をつづけることができました。昨年秋には、そのような活動に高い評価を受け、広島大学から学長表彰されました。今期はさらなる展開をするときにきています。

これを機に、代表幹事をはじめ幹事の執行体制を一新することにいたしました。今総会は、その新執行体制を選んでいただくという重要な会になります。万障繰り合わせて、ぜひご参加ください。総会は例年新入会員の歓迎会でもあります。新しい仲間のご出席をお待ちしています。

第 2 部の懇親会には、例年東広島市の要職の方々も出席されます。盃を交わしながら、東広島の将来について、じっくり話し合えるよい機会です。旧い仲間と久しぶりに会えるたのしさ、懐かしさも加わります。懇親会にもぜひご出席ください。（金田 晋）

広島大学マスターズ第 7 回総会

- 日 時 6 月 2 日（土）
- 第 1 部 総会 16:30 ~ 17:30
- 場所 泉ホール（賀茂泉館 4 階、JR 西条駅前）**会場は例年とちがいます**
（東広島市西条本町 12 - 5 Tel : 082-424-2088）
- 次第 代表幹事挨拶
顧問挨拶・浅原広島大学長 / 蔵田東広島市長（調整中）
23 年度活動報告 / 23 年度広報・IT 活動報告 / 23 年度会計報告
次期役員の選出
新代表幹事挨拶
24 年度事業計画
新入会員の紹介
- 第 2 部 懇親会（新入会員歓迎会を兼ねる） 総会終了後 ~ 19:30
- 場所 泉ホール（総会終了後、同会場でひきつづき行われます）
（東広島市西条本町 12 - 5 Tel : 082-424-2088）
- 会費 5,000 円
- 同封の返信用ハガキで、出欠（5/15 〆切）をご返事ください。**

2 . 広大図書館で複写サービスを利用できます

従来、広島大学図書館では、現職の教職員と学生、それから科学研究費補助金の受給者しか複写サービスを受けることができませんでした。また別に「フレンドリー制度」(http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/friendly_annai/pamphlet.html)があり、図書館に1万円以上の寄付をした方で、希望があれば利用証を発行して種々のサービスを受けることができました。名誉教授はもちろん退職者には、複写サービスを利用する道は閉ざされていました。

このほど、広大図書館と折衝を重ねた結果、広島大学マスターズの会員は、会費等の負担なしに複写サービスを受けることができるようになりました。複写を希望される方は、図書館サービスコーナーの窓口で「広島大学利用登録証」を提示し、「広大マスターズの会員です」と名乗っていただければ、複写サービスを受けることができます。もちろんサービスにかかる実費は払わなければなりません。

このことは、マスターズ創設以来、広大の教養教育や留学生教育、さらに市民の生涯学習事業に貢献し、昨年度学長表彰を受けた実績が評価されたのだと思います。この特典を活用して、今世界で展開されている学術研究の最新情報を手に入れ、ご自身の研究と教育に活かされることを願っています。

3 . 24年度平和科目「平和と人間A」が始まりました

広島大学が昨年度からはじめた教養教育のための平和科目(選択必修、2単位)に、広大マスターズは、今年度も東広島キャンパスで前期「平和と人間A-環境と生物の未来へ-」、後期「平和と人間B-人間と文化の未来へ-」計2科目を開講します。前期は既に金田(第1、第2回)、松田(正典)(第3回)が終わっています。受講者数は157名(教室定員)で、昨年度と同じく活況を呈しています。

「広大マスターズ広島」も、今年度から東広島キャンパス(前期)で「平和と人間C」を開講しています。「平和と人間D」は昨年通り東千田キャンパス(後期)で開講します。

平成23年度平和科目「平和と人間A」(前期)と「平和と人間B」(後期)の趣旨(参考)

講師陣は広島大学名誉教授で構成。大学教育の現場から離れているが、なお学界等の第一線で活動する。その立場から、「平和」をより大局的にとらえ、オムニバスで講義する。

1) 私たちの原点は、人類最初の原爆投下によって都市壊滅した広島にある。だが平和を求める心は人類に共通し、普遍的である。

2) 産業革命によって、生産と消費、労働と生活、伝統と文化のシステムが大きく変化し、私たちは国家=国民の枠の中に組み込まれる。今から200年以上前、「神なき時代の最初の哲学者」とよばれるカントは、平和は人間が自ら創設されるものと説いた。

広島投下の原子爆弾とは何であったか。そこに生きた者の視点から被爆の実相と都市の破壊を考え、原子爆弾の構造、その威力等を知り、その後の核兵器の歴史と現実を考える。

「平和については、戦争の悲惨さを直視し、核廃絶を含む軍縮を展望する視点を育てる必要があることはいうまでもない。しかし、それ以外にも、<貧困>、<飢餓>、<人口増加>、<環境>、<教育>、<文化>など多様な観点から広く平和を捉え直してゆくことも必要です。」(『平和科目群設置の目的』より)

3) 「平和」を国際的レベルにおける共同意志にどう高めてゆくか、それを考えてゆきたい。

平和と人間A - 環境と生物の未来へ - (前期)

- 第1講 ガイダンス(4月9日) 授業の狙い、講師紹介(金田晋・元総合科学部)
- 第2講 平和と哲学 - カントと平和の哲学(4月16日)(金田晋・元総合科学部)
- 第3講 広島投下の原子爆弾の構造・威力・被害と放射線障害(4月23日)(松田正典・元総合科学部)
- 第4講 広島で被爆して平和を考える(5月7日)(植木研介・元文学研究科)
- 第5講 近代産業と平和 英国資本主義とクェイカー教徒 - (5月14日)(友田卓爾・元総合科学部)
- 第6講 地球環境の変貌(5月21日)(安藤忠男・元生物圏科学研究科)
- 第7講 30年後の地球環境(5月28日)(安藤忠男・元生物圏科学研究科)
- 第8講 生物多様性(6月4日)(山本義雄・元生物圏科学研究科)
- 第9講 環境と再生可能エネルギー(6月11日)(鈴木寛一・元生物圏科学研究科)
- 第10講 水産資源の国際問題(6月18日)(中川平介・元生物圏科学研究科)
- 第11講 バイオテクノロジーの歴史と最新技術(6月25日)(平田敏文・元理学研究科)
- 第12講 次世代のバイオテクノロジー(7月2日)(平田敏文・元理学研究科)
- 第13講 感染症と危機管理(7月9日)(松田治男・元生物圏科学研究科)
- 第14講 平和と国際経済学(7月17日)(佐野進策・元経済学部)
- 第15講 平和の哲学 現代の諸問題と哲学の視点(7月23日)(金田晋・元総合科学部)

平和と人間B - 人間と文化の未来へ - (後期)

- 第1講 ガイダンス、授業の狙い、講師紹介(10月1日)(金田晋・元総合科学部)
- 第2講 平和と哲学 - カントと平和の哲学(10月15日)(金田晋・元総合科学部)
- 第3講 広島投下の原子爆弾の構造・威力・被害と放射線障害(10月22日)(松田正典・元総合科学部)
- 第4講 広島で被爆して平和を考える(10月29日)(植木研介・元文学研究科)
- 第5講 近代産業と平和 英国資本主義とクェイカー教徒 - (11月12日)(友田卓爾・元総合科学部)
- 第6講 環境から見た人類の生長とその限界(11月19日)(安藤忠男・元生物圏科学研究科)
- 第7講 バイオテクノロジーと食の安全(11月26日)(池上晋・元生物圏科学研究科)
- 第8講 バイオテクノロジーと生物多様性(12月3日)(池上晋・元生物圏科学研究科)
- 第9講 戦争と倫理(12月10日)(水田英実・元文学研究科)
- 第10講 戦争と記憶 比治山に眠るフランス兵士の墓(12月17日)(原野昇・元文学研究科)
- 第11講 イタリア半島の言語状況から平和を考える(12月25日)(古浦敏生・元文学研究科)
- 第12講 平和とスポーツ 祭典とオリンピック(25年1月8日)(渡部和彦・元教育学研究科)
- 第13講 平和と美術(25年1月10日)(難波平人・元教育学研究科)
- 第14講 平和と国際経済学(1月21日)(佐野進策・元経済学部)
- 第15講 平和の哲学 現代の諸問題と哲学の視点(1月28日)(金田晋・元総合科学部)

4 . 中韓の留学生教育でも講座を開きました

1. 平成 23 年度日韓共同理工系学部留学生事業による韓国留学生のための入学前予備教育として、昨年 10 月から本年 2 月まで、数学、物理、化学、生物の理系 4 科目の授業（各週 1 回で 10 週）が、広大マスターズ会員（数学 - 水田義弘会員、化学 - 平田敏文会員）と広大マスターズ広島会員（物理 - 山下英生会員 + 米倉亜州夫会員、生物 - 渡邊一雄会員 + 榊井秀雄会員）によって行われました。

2. 一昨年度からはじまった広島大学日本語・日本文化特別研修は、主に中国の大学の日本語学科等で日本語を学んでいる中国人学生を対象に開かれています。冬期と夏期に約 2 週間のプログラムで行われますが、夏期は広大マスターズ広島のほうにお願いし、冬期をわが広大マスターズが「日本文化」あるいは「日本事情」（今年は 4 コマ）引き受けることにしています。今年の 2 月（昨年度）には、安藤忠男会員が「環境」、井上宣邦会員が「生活の中の通信」、渡部和彦会員が「スポーツ」、金田晋会員が「日本の絵画 - 絵巻物の世界」を講話しました。

どのような教室の雰囲気であったか、私の授業を例にご紹介します。

「最近世界で評判の日本の文化の一つに、マンガ、アニメがあります。そのルーツはここにあり、と、『鳥獣戯画』甲巻を全部スクリーンに映して、その時間的展開、空間的拡がり、そこに描かれるウサギやサルやカエルや狐やネコやネズミたちの描きかたを、学生たちの反応と呼吸を合わせながら見て行きました。その『鳥獣戯画』の世界を学生たちと共有できたと思います。学生たちはずいぶん熱心に聴いて、私の質問に間髪を入れず答えてくれました。

感心したことがあります。授業の最初に、今日の講義のキーワードは「クール・ジャパン」ですが、その「クール」を日本語でどう訳すかと聞いたところ、数人の学生から「カッコイイ」という返事が返ってきました。「ツメタイ」なんて言うのはいませんでした。日本ではNHKBSの「クール・ジャパン」という番組が知られています。日本文化の一つの特長になっていて、普通の学生でもその語になじんでいるが、2 週間の短期講習会にきた学生が「クール」を知っています。かれらもBSを見ているのか、その情報摂取のスピードに舌を巻きました。

因みに、「クール」はアフリカ系アメリカ人の間でつかわれた俗語で「イカス」、「カッコイイ」の意味。映画「ウエストサイドストーリー」（1961 年）の中に出てきますが、その後英語圏以外でも使用されるようになります。現代ドイツの代表的美学者ヴェルシュは、1980 年以降の「新しい美德」として、自分の著書で、英語の coolness をドイツ語に翻訳せずそのままつかい、現代の消費社会特有の美意識を論じています。

授業は、学生のほうからもあちらこちらから声が出ていました。学生たちもよく理解してくれたようです。久しぶりに気持ちのよい授業でした。（金田 晋）

5 . 東広島市生涯学習大学システム運営協議会幹事に 原野昇会員を推薦しました

東広島市では、市民の生涯学習を推進するための環境をつくるため、平成 15 年標記運営協議会が結成されました。この協議会には、東広島市、同教育委員会、広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、エリザベト音大、JICA 中国国際センター、独立行政法人酒類総合研究所、東広島商工連絡協議会、広島県立障害者リハビリセンター、東広島市社会福祉協議会等 21 機関で構成されていますが、広大マスターズも設立当初から上記諸機関と並んで機関登録しています。今年度の協議会幹事に、広大マスターズは原野昇会員を推薦しました。

6 . 24 年度の東広島市民講座が始まります

平成 24 年度市民講座（主催：東広島市教育委員会生涯学習課、共催：広島大学マスタース）が
はじまります。ご参加を、またご近所の方、友人、知人の方に、宣伝をよろしく願います。

1) 「健やかで美しく歳を重ねたい」

・講座概要：健康で美しい人生を過ごしたい。健康づくりの科学知識をヒントに、ご自
分の生活に活かして欲しい。

・日程：(すべて 13:30～15:00)

第 1 回：6 月 5 日（火）「健やかな生活と習慣」(講師：角谷哲司)

第 2 回：6 月 19 日（火）「免疫と健康の科学」(講師：松田治男)

第 3 回：7 月 3 日（火）「健やかな生活と生化学」(講師：平田敏文)

第 4 回：7 月 17 日（火）「姿勢と健康づくりウオーキング」(講師：渡部和彦)

2) 「モノからみるイギリス史」

・講座概要：記録史料の分析だけでなく、各時代の代表的モノを手がかりに歴史をみる
ことでイメージがふくらみ、これまでと違った歴史像が浮かび上がることで
しょう。

・日程：(すべて 13:30～15:00)

第 1 回：8 月 11 日（土）「遺跡からみる古代イギリス」(山代宏道)

第 2 回：8 月 18 日（土）「建築からみる中世イギリス」(山代宏道)

第 3 回：8 月 25 日（土）「紅茶からみる近世イギリス」(友田卓爾)

第 4 回：9 月 1 日（土）「鉄・石炭からみる近代イギリス」(友田卓爾)

3) 「家族で挑戦！ 野っばら探検講座」

・講座概要：子供たちが本物の自然に触れる機会がどんどん減っています。今回の講座
では、自然を知りつくしたベテランが子供とその親に自然との接し方、楽し
み方を教えます。

・日程：

第 1 回：8 月 5 日（日）「みどりの牧場で動物の世界探検」(講師：山本義雄)

第 2 回：9 月 9 日（日）「里山で遊ぼう」(講師：西村清巳)

第 3 回：10 月 28 日（日）「並滝寺湖で大口バス釣りと調理」(講師：中川平介、
西村清巳)

第 4 回：11 月 11 日（日）「東広島の大い探検」(講師：沖村雄二)

4) 「風景画を楽しく学ぶ」

・講座概要：世界の美術史から風景画の歴史とセザンヌの風景画を取り上げ、その特
質を語ります。また現在の画家の風景画や難波の描く風景画を解説し、そこ
に表現された内容を分析します。

・日程：(すべて 13:30～15:00)

第 1 回：11 月 12 日（月）「風景画の歴史」(講師：金田晋)

第 2 回：11 月 19 日（月）「セザンヌの風景画」(講師：金田晋)

第 3 回：11 月 26 日（月）「現代の画家が描く風景画」(講師：難波平人)

第 4 回：12 月 3 日（月）「難波が描く風景画」(講師：難波平人)

5) 「初歩から学ぶラテン語・シルクロードをひとつとび」(講師：水田英実)

・講座概要：シルクロードの東端から、時間と空間を越えて、ひとつとびにローマ字

の世界を訪ねて見ませんか。

- ・日程：2013年1月9日（水）23日（水）2月6日（水）20日（水）
（すべて13:30～15:00）

7．平成24年度テレビ新広島文化大学が始まりました

学問の散歩道シリーズ3

- 第1話（4月17日）「世界美術紀行」 難波平人（元教育学研究科）
- 第2話（5月15日）「いのちの環 生態系のなり立ち」 池上 晋
（元生物圏科学研究科）
- 第3話（6月19日）「世界き裂発見の旅」 中佐啓治郎（元工学研究科）
- 第4話（7月17日）「ゲルマン民族の英雄伝説」 岡崎忠弘（元総合科学部）
- 第5話（9月18日）「歎異抄の世界と現代（3）」 松田正典（元生物圏科学研究科）
- 第6話（10月16日）「原子力への科学者の旅」 西川恭治（元理学研究科）
- 第7話（11月20日）「低温の魅力」 永井克彦（元総合科学研究科）
- 第8話（12月18日）「接着の科学」 高田忠彦（元産学連携センター）
- 第9話（2013年1月15日）「楽しく続けたい身体づくり：ウォーキング+ の実践」
渡部和彦（元教育学研究科）
- 第10話（2月19日）「英語の学び方」 三浦省吾（元教育学研究科）
- 第11話（3月19日）「カウンセリングを学んで使おう 聞き上手をめざして」
岩村 聡（元総合科学部）

8．広大マスターズのホームページを開いてください

広大マスターズのホームページはたえず更新されていて、新鮮です。広大マスターズの活動ができるかぎり迅速に、できるかぎり詳細に記録されています。本号で22号をかぞえる「マスターズ通信」のバックナンバー、各種催しものの案内、市民講座のプログラム、それから韓国や中国の留学生に向けた基礎教育、教養教育、昨年度から広島大学で教養科目として開設された平和科目をはじめ、読みもの「学問の散歩道」等、各種記事が満載されています。

広大マスターズのホームページは、「会員向け」と「瓦版（市民向け）」の2種類があります。前者では、「入会のご案内」や「会則」からはじめて総会、例会、会の活動状況など、会員に対する情報です。後者は、会員以外の市民の方々への情報提供が主です。

これらのホームページは、次のURLで開けます。

会員版：<http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>

瓦版：http://www.geocities.jp/hirodai_ob/index.html

また、「広島大学ホームページ」から【校友会・同窓会】 [広島大学マスターズ] とたどっても、リンクできますので、ぜひ、開いてみてください。

【広大マスターズ連絡先】

広島大学マスターズ事務局

〒739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島 3F

広島大学サテライトオフィス内

Eメール：masters@hiroshima-u.ac.jp